

## 1. 全般事項

- 1) 本誌は日本職業・災害医学会の機関誌で、投稿者ならびに共同執筆者も会員に限られる。
- 2) 投稿原稿は職業医学並びに災害医学に関する医学の進歩に寄与する原著論文、総説、展望、シンポジウム、症例、その他であって、他誌に掲載または投稿中でないものに限る。
- 3) 刷り上りは原著・シンポジウムは7頁(約8,400字)以内、総説・展望は9頁(約10,800字)以内、症例5頁(約6,000字)以内、文字数には図、表、写真、引用文献などを含む。
- 4) 他文献から引用した図、表(引用改変、転載)は著者の責任において許諾を得ること、またその旨を論文表紙に記載し、原稿には出典を必ず明示すること。自身が著者である出版物についても同様に対応する。

## 2. 論文の採択

投稿原稿の採否、掲載順序は編集委員会できめる。

## 3. 原稿について

## 1) 原稿の様式。

- (1) 原稿の文字はA4判に11ポイント以上の大きさで標準的なフォント(MS明朝、MSゴシックなど)を用いたMicrosoft社のWordでの作成を推奨する。各行に番号を入れること。頁数を必ず記入する。用語は常用漢字、現代仮名づかい、日本医学会用語を用いる。英文原稿はA4判紙にダブル・スペースで作成すること。
- (2) 表紙には①論文種別、②表題、③著者名、④所属機関名、⑤キーワード、⑥別刷り請求先、⑦連絡先(氏名、所属機関、住所、電話番号、電子メールアドレス)、⑧その他を記載する(②～⑥は和文と英文を併記)。
- (3) 和文原稿には800字以内の論文要旨(目的、対象、方法、結果、結論を含む)および英文抄録(ダブル・スペースで作成)をつけること。英文原稿には、和文の論文要旨(800字以内)をつけること。
- (4) 英文原稿および英文抄録は、英語を母国語とする外国人の校閲を受けた後、投稿すること。
- (5) 索引の分類に用いるため必ずキーワード5つ以内を和文および英文でそれぞれ付記すること。
- (6) 図(写真を含む)および表は出来る限り鮮明なものを、データとの対比確認用に別紙とし図1、表1、のように番号をつけ、原稿にはそれぞれの組み込み場所を指定すること。印刷に不適当である図、表原稿は再提出を依頼することがある。
- (7) カラー印刷を希望する場合、その旨を論文表紙に記載する。その際はカラー用の図、表を提出すること。製版、印刷の実費は著者負担とする。
- (8) 引用文献は主要文献のみとし、引用順に番号をつけ本文末尾に記載する。文中の引用箇所文献番号をつけること(右肩付番号)。著者3名まで連記し、それ以上にわたるときは他(et al)とする。但し全部で4名のときは全員連記。なお、引用文献中、雑誌名の略記にはPubMed、日本医学雑誌略名表(日本医学図書館協会編)の形式によることとし、様式は下記によること。

## 2) 引用文献の記載。

## (1) 学術雑誌

著者名：題名、雑誌名 巻(号)：開始頁—終了頁、発行年。

## 《例》

○山田太郎, 川上 肇, 木村 茂, 佐藤元次：  
小児および青年の胆道疾患. 外科 30: 413—420, 1975

○Weber AM, Roy CC, Morin CL, et al:  
Malabsorption of bile acids in children with  
cystic fibrosis. N Eng J Med 289: 1001—  
1005, 1973.

……, N Eng J Med 289 (5): 1001—1005, 1973.

## (2) 著書

著者名：題名、書名、版、出版社、出版地、発行年、pp 開始頁—終了頁。

## 《例》

○審良正則, 森永謙二：臨床からみた石綿関連疾患 第1節 石綿肺, 職業性石綿ばく露と石綿関連疾患基礎知識と労災補償. 改訂新版. 東京, 三信図書, 2005, pp 161.

○Steel RGT, Torrie JH: Principles and  
Procedures of Statistics. New York,  
McGraw-Hill, 1960, pp 112—121.

## (3) ウェブサイト・電子文献 (DOIがある文献については、DOIを記載する。)

著者名：ウェブページの題名、ウェブサイトの名称、更新日付、入手先、(入手日付)。

## 《例》

○中央初回保険医療協議会. 平成22年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(平成22年度調査)の結果について. 厚生労働省. 2010-9-7. <http://www.mhlw.go.jp/stf/singi/2r9852000001mx9-att/2r9852000001olga.pdf>, (参照2014-11-03).

○NCCN Guidelines. National Comprehensive Cancer Network.  
[http://www.nccn.org/professionals/physician\\_gls/f\\_guidlines.asp#site](http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/f_guidlines.asp#site), (accessed 2014-11-03).

3) 論文内容の倫理性を十分配慮する。臨床研究ではヘルシンキ宣言を遵守し、必要あればインフォームドコンセントの有無について明記する。また症例患者は匿名とし、患者が特定できる事柄は記述しないこと。動物実験では、動物の保護および管理に関する法律または各研究施設の倫理委員会の承認のもとに行なわれたことを明記する。

4) 研究および原稿執筆の過程において人工知能または同様のテクノロジー(ChatGPT等)を使用した場合、著者や共著者としては認められず、著者はその内容の責任を負い、謝辞あるいは本文中で使用を明記することが求められる(注：文法やスペルチェックのための使用は除く)。

## 4. 校正について

校正の初稿は著者校正とし、校正時に原稿(図表を含む)を変更することは認められない。再校は編集委員会があたる。

## 5. 著作権について

掲載論文の著作権は日本職業・災害医学会に帰属する(電子媒体も含む)。投稿にあたり共同執筆者を含め著者全員が署名した「著作権譲渡同意書」(別紙)を添付する。

6. 利益相反について  
日本職業・災害医学会が定める「医学研究の利益相反（COI）に関する指針の細則」第3条（本学会機関誌などにおける届出事項の公表）（<http://www.jsomt.jp/coi/saisoku.pdf>）に従い、自己申告によるCOI報告書（様式2）に記入し、添付する。
7. 掲載費用について  
1) 掲載料は規定の頁数の範囲内は無料とする。超過分の所要経費は著者負担とする。なお、特急掲載の場合は全頁著者負担とする。  
2) 別刷を希望する場合、その旨を論文表紙に記載する。別刷作成の実費は著者負担とする。論文は日本職業・災害医学会ホームページよりPDFデータを必要に応じてダウンロードすることができる。
8. 投稿について  
論文の投稿はオンライン投稿査読システム「ScholarOne Manuscripts」で行う。  
日本職業・災害医学会ホームページ、会誌投稿規定を参照のこと。  
（<http://www.jsomt.jp/journal/index.html>）必ず投

稿前にファイルの文字化け、画像の鮮明度などを確認すること。投稿の方法は、投稿査読システム内（<https://mc.manuscriptcentral.com/jjomt>）の投稿マニュアルを参照のこと。

\*オンライン投稿が利用できない場合は、日本職業・災害医学会編集委員会へご相談ください。

投稿に関する問い合わせ・連絡先：  
日本職業・災害医学会編集委員会  
〒211-8510 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1-1  
総合研修センター内  
e-mail: syokusai@miracle.ocn.ne.jp  
TEL: 044-430-5236（平日9:00~17:00）

オンライン投稿・査読システムに関する技術的なサポートについての問い合わせ：  
ScholarOne サポートセンター株式会社杏林舎  
e-mail: sl-support@kyorin.co.jp  
TEL: 03-3910-4517（平日9:00~12:00, 13:00~17:00）

#### 日本職業・災害医学会会誌編集委員会

委員長	岡崎 裕司												
委員	荒井 宏人	伊藤 弘人	猪股裕紀洋	上野 哲	小沢 義典	恩田 秀寿	加地 正人						
	金子 麗奈	河井 良智	岸 正司	木下 弘壽	黒澤 一	興梠 征典	小林 一女						
	佐伯 覚	坂本 宏子	佐藤 新兵	佐藤 仁	佐藤 譲	篠原 信雄	周藤 高						
	白石 貴寿	神宮司誠也	杉尾雄一郎	杉山 政則	須田 浩太	住田 幹男	高田 宏文						
	竹田 克明	立澤 孝幸	立石清一郎	田中 正一	田中宏太佳	玉井 秀幸	角田 正史						
	豊田 章宏	永田 昌子	楢館 民恵	丹羽 一貴	華山 直二	東川 晶郎	平居 義裕						
	福屋 純子	堀江 彰久	三上 容司	満田 正樹	宗像 正徳	山本 晴義	山本 康						
	矢本 希夫	柚本 和彦	横地 章生	吉村 玲児									

# 著作権譲渡同意書

日本職業・災害医学会 編集委員会御中

年 月 日

論文名：

標記論文は、その内容が他誌に掲載されたことはなく、また他誌に投稿中でないことを認めます。また標記論文が、「日本職業・災害医学会会誌」に掲載された場合は、その著作権を日本職業・災害医学会に譲渡することに同意します。

筆頭著者署名

共著者署名

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

注：全著者の名前を筆頭著者（署名）、共著者の順に列記して下さい（捺印は不要です）。  
本頁をコピーしてご利用ください。

## 日本職業・災害医学会会誌：自己申告による COI 報告書

著者名： \_\_\_\_\_

(共著者を含む)

論文題名： \_\_\_\_\_

(著者全員について、投稿時点の前の年から過去3年間および出版受理時点までの期間を対象に、発表内容に関する企業・組織または団体との COI 状態を著者ごとに自己申告記載)

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体から、医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑦奨学（奨励）寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄附金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に対して、申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑧企業などが提供する寄付講座 実質的に用途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた100万円以上のものを記載	有・無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

(本 COI 申告書は論文掲載後所定の期間保管されます)

(申告日)    年    月    日

Corresponding author (署名) \_\_\_\_\_ (印)

注：著者全員の COI 状態を記載してください。本頁をコピーしてご利用ください。